

地域と子育て世帯を

つないでいきたい



おむすびの会代表
きしもとしずか
岸本静香さん

日高町出身、豊岡市在住。7歳と5歳の2児の母。誰でも子育てをしやすい環境を整えるため、おむすびの会の活動やさまざまな子育てイベントの企画運営に携わる。また、SNSでの遊び場の情報発信も行っている。



おむすびの会は「みんなで子育てする地域にした」「地域と子育て世代をつなぐ役割になりたい」との思いから活動を始めて、今年で4年目になります。

コープデイズ豊岡の集会所を中心に、月4回程度、簡単な調理をしてみんなで食べたり、広い部屋や屋外で遊んだりします。いずれも集まった人たちで子どもたちを見守り合いながら過ごします。参加者には「日中親子だけでは間が持たない」「ちよっと話を聞いてほしい」そんな悩みが解消できてお腹も満たされると喜んでいただき、励みになっています。

最近では、社会環境の変化により、地域で子育てする姿が見られなくなりました。地域にいるはずの子育て支援者の存在を知らないため、助けを求められずに、つらい思いを抱える方が多いと感じています。子育てには悩みがつきものです。地域の人とつながりを持つことで、頼れたり相談できる人が見つかったりして、楽しく子育てできる人が増えるのではないかと思います。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

ドローンが荷物をお届け
出石郵便局と唐川公民館を結ぶ配送試行が実施されました



日本郵便が、出石郵便局と但東町の奥矢根・唐川地区間で荷物を運ぶ配送試行を行いました。3月21日には唐川公民館までの飛行が報道機関や関係者に向けて公開されました。県知事や市長らが見守る中、離陸したドローンは、11km先の公民館に向かって飛び立ちました。荷物を受け取った市民は「未来の可能性を感じました。これからの展開にわくわくします」と話していました。中山間地域でのドローン配送に本市も期待しています。

豊岡演劇祭実行委員会が2つの賞を受賞



豊岡演劇祭実行委員会が、関西の活性化に貢献している団体などを表彰する「関西財界セミナー賞」を受賞しました。人口減少の著しい日本海地域の盛り上げに一役買っていることなどが評価されました。また、総務省が主催し、ふるさとをより良くしようとがんばる団体・個人を表彰する「ふるさとづくり大賞」では団体表彰(総務大臣表彰)を受賞しました。豊岡演劇祭が、地域課題の解決に結びつくことを、本市も期待しています。

豊岡市 SNS LINE X Facebook Instagram 各施設・事業の SNS

※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。

